

高知自動車道 災害復旧に関する技術検討委員会
第2回技術検討委員会の結果概要

1. 土砂崩落箇所の安定性

- 崩落箇所周辺の現地調査を行った結果、新たに一部、今後不安定化が懸念される箇所において、新たに地質調査を行う。

2. 土砂崩落箇所の対策工法

- 斜面に堆積した不安定な崩壊土砂を撤去し、土留工などによる浸食防止を図る。
- 斜面上部は法枠工を行い、小規模な崩壊発生や滑落崖の後背斜面への拡大を防止するとともに、水抜きボーリング工などにより排水機能を向上させる。
- 崩壊斜面よりさらに上方からの転石や土砂流出に対する防護対策を実施する。
- 万一、土砂が再崩落しても橋梁上部工が流出しないよう、橋梁桁下空間や斜面との離隔を拡げる等の対策検討を進める。

3. 構造物の健全性の評価及び復旧

- 現地調査や測量の結果、残された橋脚・橋台の躯体、杭の健全性に問題はないため、これらを使用した橋梁上部工の復旧を行う。

4. 立川橋上部工流出メカニズムの推定

- 流出した橋梁上部工は、横断方向に折れていたのを確認した。
- 土砂が立川橋の方向に崩落し、橋梁上部工の耐力以上の量の土砂が、載荷したと推察される。
- 崩落土砂が橋梁上部工を横から押し、支承が破壊され、橋梁上部工全体が回転しながら、河川方向に流出した。

以 上